

セフイリア墮



度重なる陵辱

さままちな方法で
プライドを崩されながらも
ギリギリのところまで
理性を保っていた
セフィリアだったが



ついに火照る体を
鎮めるために
自慰行為をしてしまう


それをグリードに
見られ……

セフィリアハード

最終話


「真実」

作 / カーマイン



セフィリア
今日からもう
格闘大会にでなくても
いいよ

夜も客の相手を
しなくてもいい



今日からずっと
その部屋にいて
もらおうか

くつろいでもらって
かまわないよ

それじゃあ
また後で…

フフフ…

クリード…
今度はいったい何を…

この服…
とくに体にたいして
何かの刺激を与える
ものでもなさそうだし…

まあいいわ…

この間に
脱出の策でも練らせて
もらいましょう…

しかし
セフィリアの考えは
あまかった

1日100回以上
イカない日はなかった
セフィリアにとって

突然の静寂は
想像以上に過酷だった

二時間後…





ミッ!

ナノマシンによって
性の虜にされてしまった体は

びるびる

びるびる

セフィリアの心とは裏腹に
快楽を求めて
もたえ苦しんでいた



ここでまた
自慰をってしまったってば
クリードの思うつぼ…

ぶる
ぶる

……ッ!!

ぶる
ぶる



キッ
エッ

絶対に……!!



絶対に耐えないと……!!

……ッ!!

キッ
エッ

ふるふる
ふるふる

これ以上
あの男の思い通りになるわけには……



乳首がのぞけるからさ……

フリドリスをさすりた……

ビクッ

ビクッ

ふるふる
ふるふる

ダメだ……!!

……フ!!

ズッ





えっ……!



どうして……



か…感じない…
何も…！



……
なるほど……

そういうことか…



このスーツは
外からの刺激を
遮断する特殊なもの…

私が自らの手で絶頂を
むかえられないように…

気づいたようだね
セフィリア

もしそのスーツを
脱がせて
欲しかったら

いつでも
お願いしたまえ

……!

ドキッ

まあ
クロノスのNo. 1の
セフィリアともあろうものが

敵地でオナーを
したくなるなんてことは
ないかな？
ククク…

それから
セフィリアにとって
今までは違う
拷問がはじまった

くっ……





どんなに
イキたくなっても
決してイクことが
できないという



淫乱なメスに
したてあげられた
セフィリアの体にとって
もっとも過酷な拷問…

自分の意思に反して
無理矢理イカされていた
今までとは違い

ぶる
ぶる

……!!

自らの意思で
イキたくなっていると
いうことが
セフィリアのプライドを
より責め立てていた



イキたい……

絶対に……
自ら敗北を認める
わけには……

絶対に……
絶対に耐えてみせる……!

イキたい……

目をますことに
イクことへの欲求は
高まり……

意思と反して
指を動かすが……

ふるふる

イキたい……

イキたい……



決してイクことは
出来ず…

ふるふる

四六時中
悶えるのみだった…

ほあ

ほあ

ほあ

!!

セフィリアハード

第10話

「一週間」

作 / カーマイン



久しぶりだね

やあセフィリア

ククク...



ふるふる

ふるふる

ほあ

ほあ

ほあ



…次はどんな

卑猥なことを
するつもりですか…？



どうだった
この一週間

しつかり
休めたかな？



クリード……！



おや？


なんだか
いやらしいことを
されるのを
望んでいるように
聞こえるけど？



……！









キミの剣を
用意してある


ナノマシンの
解除剤もあるし
外部への通信機器も
ある



そろそろまた
ゲームを
しようじゃないか




ただし
この二人の攻撃を
かいくぐることだけが
条件だ



これらは
自由に使ってもらって
かまわない

今回は何も
卑怯なことはしない



ナノマシンで
体を操ったりも
しないよ

.....



スタートだ

さあ



くっ…
今の状態で
まともに戦うのは不利…

でも…まずは
攻撃を回避しながら
クライストを手
に…





まずクライストを……!!



ダメか……!!



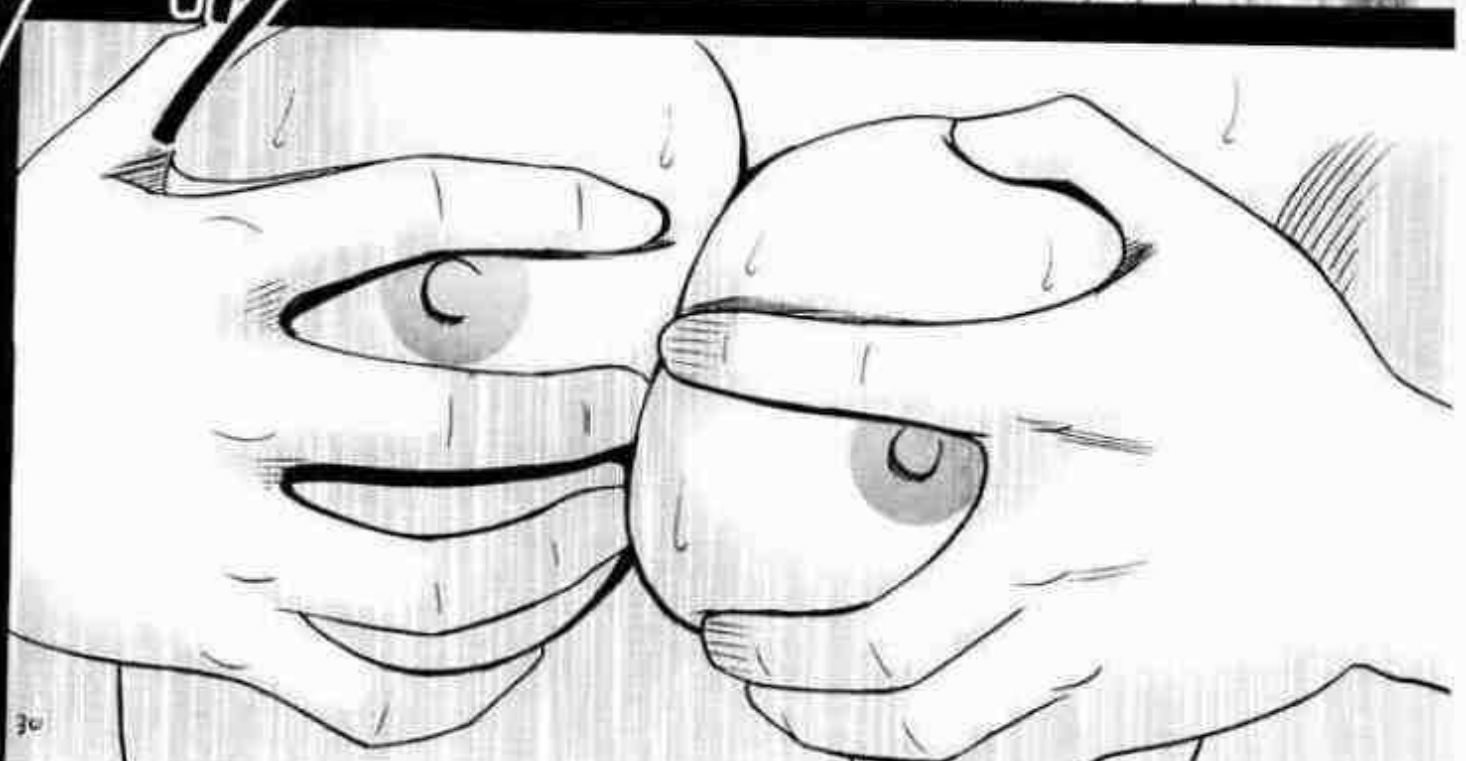
ムニ



くっ……!!

おっと!

グッ





乳房への愛撫が
くすぶっていたセフィリアの
官能の炎を激しく
燃え上がらせてしまった

一週間
おさえられ続けた絶頂感が
一気に押し寄せてくる

ふるふる

さつきは
惜しかったなあ

びる
びる

もうちよつとで
剣に手が
届きそうだった
のになあ

……っ!!

毛汁

毛汁

毛汁

さくねん

あ!!

胸もんでるだけで
感じまくってるのが
伝わってくるぜ

……っ!!

ビク!!

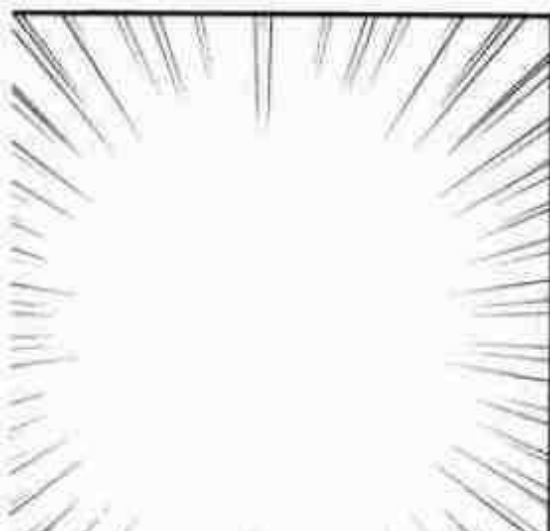
ん!!

ビク!!





あああ
あああ
あああ
!







このまま・・・







M.A.

アアアア!!

グチュ









おっと
続きはベッドの
上でな

あっ…

くっ！

やっ！

モッ
モッ

ギメッ

ダメだ……！
剣まであと少しのと……るまで
行つてたのに……！

グク
グク

この人たちを振り払って
もう一度……!!

ぶるぶる

……!!

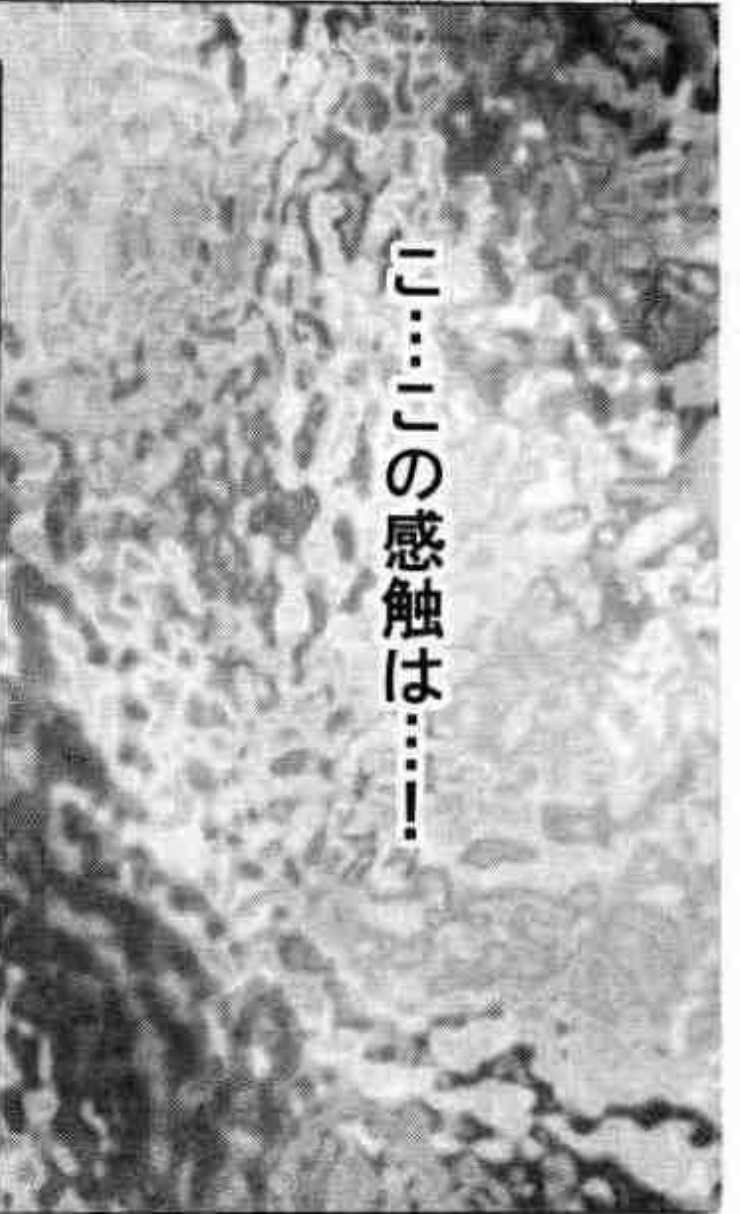
イキたい……!!

んっ……!!

……

戦わないと……!!

クロノスのために……!!



「……」の感触は……

ドキッ



あつ...

フィル

ほらほら
さきつちよが
入っちゃったぜ

脱出してみろよ

くっくっ……

ぶる
ぶる

せつかく
がんばったのに

結局はまたそうやって
犯されるのかい？

キミはその程度
だったのかい？

もっと
誇り高いところ
見せてくれよ

ぶる
ぶる

……っ!!

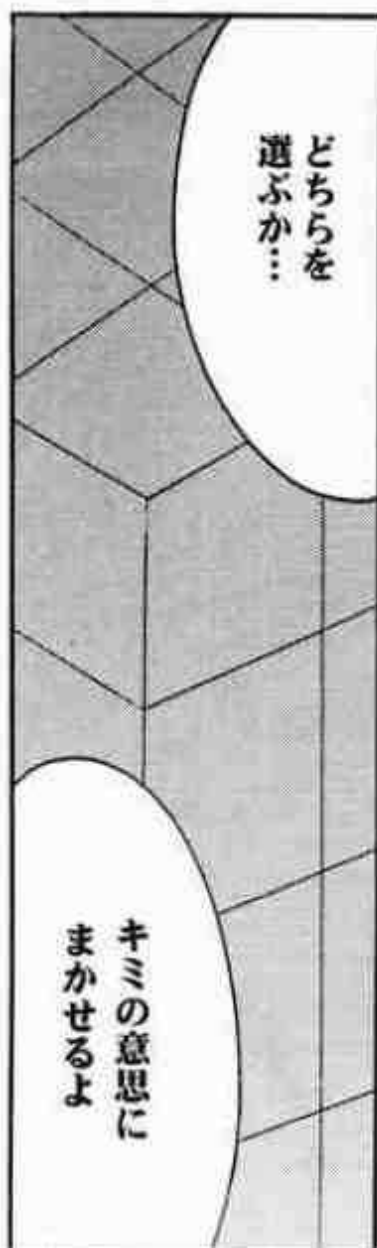




ほらせフィリア

剣をここまで
持ってきてやったぞ

ぶる
ぶる



どちらを
選ぶか…

キミの意思に
まかせるよ



ぶる
ぶる

最高の快感を
得たいのなら
そのまま腰を
沈めればいい



まだ
戦い続けたかったら
手をのばすといひ

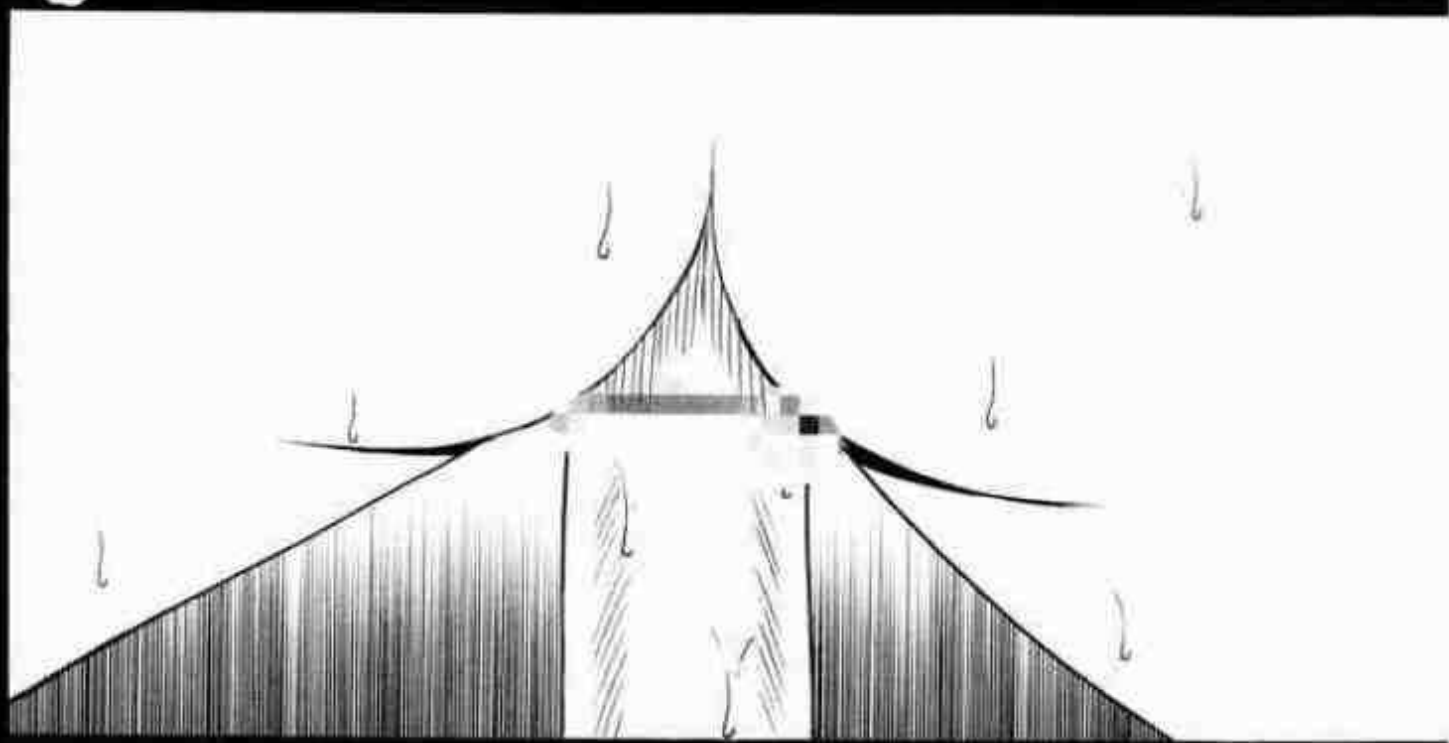
あのとき
手を伸ばせば
すでに剣を手にすることは
できていた…

でもしなかった…

本当はもう
ずっと前から
答えは出てた…

私は戦っていないかった

私は戦っている
フリをしていたただけだったの
かもしれない…





私の意志…

イキたい…



私の意志は…

クロノスのために
戦うこと…

イキたい…もうガマンできない…



もう…
答えは出ている…

私はもうっ…

快感の虜になっていた…





来た……!

ガキョ

ガキョ

「の……感じ……!

あ……!!

うああ!!

ガキョ

一週間
待ち焦がれた……

ガキョ



おれが世に

!!



ふる
ふる

ククク…
自分で腰を動かして
イキまくってやがる



ふる
ふる

FB



もっと良く
してほしいなら
お願いしてみろよ

ふる
ふる

…!!



こうして
ほしいんだろ？

ズツ



ほらほら
ちやんと
言ってみろよ

フィル

フィル

ほあ

あなたのペニスで
もっと奥まで
かきまわしてください

ほあ

60



分かってんじゃ
ねーか
奴隷としての
振る舞いが

グキョ

あああッ!

グキョ

お前 まるで
何十年前から
チ●ポ奴隷だった
みたいだぞ

ぶる
ぶる

あああ……もっ……

グチュ
グチュ

!!

……!!

グ
グ

グ
グ

もつと…もつと
奥まで…!!

突いてください!

きもちいい…

淫乱なメスのような
言葉を口走ることが
ものすごく
気持ちいい…!!

オイ
ケツにも入れて
もらいたいのか?

は…はいッ!

へへ…
素直だなあ

ふるふる









わっ！



そいつらは
セックス専用
改良された
人造人間だ

体むことなく
セックスし続ける



存分に
かわいがって
もらいたまえ



あ...

あ...

あ...!!



あ...!!





いゝる
いゝる



お前を苦しめて
お前を苦しめて...

目を覚まして！
イクことへの覚悟は
あるか！



へへ...
二つの乳首を同時に
吸ってやろうか？

ふるふる
あ...あ...

あ
あ

あ
あ



ふるふる



お前...まるで
何十年も前から
チ●ポ吸ってたっ
たみたいだぞ

ふるふる

あああ...もつと...

グキョ

陵辱の連続だった日々から一変、まったく快感を得ることの出来ない状態での監禁生活。淫乱なメスの体が変わってしまったセフィリアにとってそれは何より過酷な拷問だった。一週間後、耐え続けて限界まで来ていたセフィリアの体に最後の陵辱が待っていた。